



6月20日に、小野上行政センターで「第6回ランタン祭り in 小野上」が行われました。庁舎前の田んぼのあぜに、地域の人々が作った約800個のランタンに灯をともしました。夏至の前日の薄暮の中に浮かび上がったランタンは、



▶七夕飾りを背に子どもたちと

幻想的で見事でした。田植えをしたばかりの田んぼではカエルの合唱が響き、すぐ近くを流れる吾妻川のせせらぎの音、十二ヶ岳から吹いてくる爽やかな風に吹かれて、ゆったりとした時間を感ずりました。

七夕飾りの竹の枝に「ピアノコンクールで金賞がとれますように」などの願い事を書いた短冊を結び、ランタンの周りを駆け回る子どもたち。その姿を見て大人たちが楽しそうに語り合っている。その光景を見て、一時コロナを忘れて至福の時間を過ごしました。

小野上地域は、今年4月に施行された新過疎法によって、過疎地域に指定されました。上信道の一部開通により、市役所からも20分くらいで行けます。令和7年には、渋川西バイパスが開通してさらに近くなります。JRの駅も2つあり、昨年度から実施された小規模特認校制度により、小野上小学校に小野上地域以外からも2人の小学生が通学しています。

コロナ禍を経て、大都市にはないこの地域の価値が必ず見出されると確信しています。今こそ「疎」の価値を再認識し、地域の魅力を発信していきたいものです。